



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 ビリングシステム株式会社

コード番号 3623 URL <http://www.billingsystem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO

(氏名) 江田 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理本部長

(氏名) 住原 智彦

TEL 03-5501-4400

四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	1,000	△2.1	△88	—	△88	—	△172	—
23年12月期第3四半期	1,021	9.6	160	5.9	155	3.2	150	3.6

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 △167百万円 (—%) 23年12月期第3四半期 154百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	△11,448.97	—
23年12月期第3四半期	9,885.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	5,300	1,410	26.0
23年12月期	5,781	1,622	27.6

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 1,376百万円 23年12月期 1,593百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,326	△3.1	△82	—	△82	—	△182	—	△12,122.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	15,503 株	23年12月期	15,503 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	475 株	23年12月期	475 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	15,028 株	23年12月期3Q	15,220 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機等、世界的な景気減速の影響を受ける中、復興需要などを背景に緩やかな回復傾向にあるものの、長引く円高や株価低迷、デフレ等の影響から引き続き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、既存顧客へのサービスの深堀と新規顧客獲得のため、積極的な営業を展開してまいりました。

業績全般につきましては、売上高は、概ね修正予算どおり推移いたしました。費用につきましては、売掛債権および貸付金等の回収懸念に伴う貸倒引当金繰入額を計上したことにより販売費及び一般管理費が大幅に増加しております。また、ソフトウェアのシステム開発において当初想定していた収益が見込めなくなったことに伴い減損損失を計上しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,000,281千円（前年同四半期売上高1,021,501千円）、営業損失88,132千円（前年同四半期営業利益160,053千円）、経常損失88,174千円（前年同四半期経常利益155,462千円）、四半期純損失172,055千円（前年同四半期純利益150,453千円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 決済支援事業

当事業は、インターネットを利用した株式の売買、為替・金融先物取引に付随する銀行口座、証券口座（証拠金口座）間の資金移動をリアルタイムでサポートするクイック入金サービス、通販事業者等、多数の集金が必要な企業へ各種の決済手段による収納情報をリアルタイムで一元管理する収納代行サービス及び複数取引先への一括送金業務をサポートする支払サポートサービスであります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は888,684千円（前年同四半期売上高872,661千円）、営業利益は129,627千円（前年同四半期営業利益122,994千円）となりました。

② ファイナンス支援事業

当事業は、当社グループが提供している決済支援事業のサービスを利用して頂くことで蓄積される決済データに基づき、企業の回収期日と支払期日との間に生じる期間の差に対し、資金繰りの支援を行うサービスであります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は101,554千円（前年同四半期売上高135,738千円）、販売費及び一般管理費に貸倒引当金繰入額を計上したため、営業損失141,043千円（前年同四半期営業利益57,266千円）となりました。

なお、ファイナンス支援事業につきましては、現在、事業の見直しを図っております。

③ その他の事業

当事業は、環境ビジネスに関連するサービスと決済支援事業・ファイナンス支援事業に直接紐づかない事業コンサルティングサービスなどのサービスを「その他の事業」としてセグメントしております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は10,041千円（前年同四半期売上高13,101千円）、営業損失72,693千円（前年同四半期営業損失12,746千円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は5,300,037千円（前連結会計年度末5,781,124千円）となり481,087千円減少いたしました。その主な増減は、現金及び預金598,162千円の増加、売掛金396,340千円および買取債権636,541千円の減少であります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は3,889,808千円（前連結会計年度末4,158,260千円）となり268,451千円減少いたしました。その主な増減は、預り金203,544千円の増加、短期借入金272,000千円および未払金184,732千円の減少であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,410,228千円（前連結会計年度末1,622,864千円）となり212,635千円減少いたしました。その主な増減は、四半期純損失172,055千円の計上および、剰余金の配当金45,084千円による減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月9日に公表いたしました業績予想のうち、通期の業績予想を修正しております。

具体的な内容につきましては、本日（平成24年11月13日）公表しております「貸倒引当金の計上および業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項ありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項ありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項ありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,648,346	4,246,508
売掛金(純額)	510,179	113,839
買取債権	1,138,032	501,491
商品	49,901	5,128
仕掛品	2,088	639
その他(純額)	268,295	258,521
流動資産合計	5,616,844	5,126,128
固定資産		
有形固定資産	19,432	15,751
無形固定資産		
のれん	13,478	10,109
その他	45,491	29,362
無形固定資産合計	58,970	39,471
投資その他の資産	85,877	118,685
固定資産合計	164,280	173,909
資産合計	5,781,124	5,300,037
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,642	32,381
短期借入金	572,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	30,000	49,800
未払金	427,592	242,859
未払法人税等	13,094	3,421
預り金	2,913,782	3,117,326
その他	37,801	12,461
流動負債合計	4,041,913	3,758,251
固定負債		
長期借入金	112,500	127,800
資産除去債務	2,966	3,001
その他	880	755
固定負債合計	116,346	131,557
負債合計	4,158,260	3,889,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,154,088	1,154,088
利益剰余金	488,286	271,147
自己株式	△48,720	△48,720
株主資本合計	1,593,654	1,376,515
少数株主持分	29,210	33,713
純資産合計	1,622,864	1,410,228
負債純資産合計	5,781,124	5,300,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	1,021,501	1,000,281
売上原価	590,289	629,458
売上総利益	431,211	370,822
販売費及び一般管理費	271,158	458,955
営業利益又は営業損失(△)	160,053	△88,132
営業外収益		
受取利息	1,388	1,450
投資有価証券売却益	500	—
貸倒引当金戻入額	—	178
その他	282	561
営業外収益合計	2,171	2,191
営業外費用		
支払利息	5,664	2,232
支払手数料	1,097	—
その他	0	0
営業外費用合計	6,762	2,232
経常利益又は経常損失(△)	155,462	△88,174
特別利益		
固定資産売却益	36	—
特別利益合計	36	—
特別損失		
固定資産除却損	896	—
減損損失	—	23,937
貸倒引当金繰入額	500	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	88	—
特別損失合計	1,485	23,937
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	154,013	△112,111
法人税、住民税及び事業税	8,978	7,942
法人税等調整額	△9,453	47,497
法人税等合計	△475	55,439
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	154,489	△167,551
少数株主利益	4,035	4,503
四半期純利益又は四半期純損失(△)	150,453	△172,055

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	154,489	△167,551
四半期包括利益	154,489	△167,551
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	150,453	△172,055
少数株主に係る四半期包括利益	4,035	4,503

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	決済支援 事業	ファイナン ス支援事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	872,661	135,738	1,008,399	13,101	1,021,501	—	1,021,501
セグメント間の内部 売上高又は振替高	192,526	—	192,526	—	192,526	△192,526	—
計	1,065,188	135,738	1,200,926	13,101	1,214,028	△192,526	1,021,501
セグメント利益又は 損失(△)	122,994	57,266	180,260	△12,746	167,514	△7,461	160,053

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境ビジネスに関連するサービス、事業コンサルティングサービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△7,461千円には、のれんの償却額△3,369千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,091千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	決済支援 事業	ファイナ ンス支援事業 (注) 4	計				
売上高							
外部顧客への売上高	888,684	101,554	990,239	10,041	1,000,281	—	1,000,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	888,684	101,554	990,239	10,041	1,000,281	—	1,000,281
セグメント利益又は 損失(△)	129,627	△141,043	△11,415	△72,693	△84,109	△4,022	△88,132

(注) 1. 「その他」の区分は、環境ビジネスに関連するサービス、事業コンサルティングサービス等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△4,022千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. ファイナンス支援事業における売掛債権および貸付金等において回収懸念が生じたため、販売費及び一般管理費に貸倒引当金繰入額を174,622千円計上しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」において、取得時に検討した事業計画において、当初想定していた収益が見込まれなくなったことから、当第3四半期連結会計期間において、減損損失を認識しております。

なお、当該減損損失の計上額は23,937千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第3四半期連結会計期間（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）

債権の取立不能のおそれについて

当社は、取引先である株式会社ウィルフロントロジスティクスに対し、同社から譲り受けた売掛債権を受けて平成24年10月10日に前払いを実施いたしました。しかし、同社に契約違反の事実が発生し、同年11月1日に精算ができなかったため、同年11月7日に当該売掛債権の譲渡契約を解除いたしました。そのため、当社は、同社に対し、譲渡代金等の返還請求債権を取得しましたが、その回収に疑義が生じております。

同日現在において当社の同社に対する債権総額は20,552千円であります。

当該債権のうち、取立不能見込額につきましては、平成24年12月期第4四半期において貸倒引当金を計上する予定であります。